

2019年11月5日
トヨタホーム株式会社

「災害にいちばん強い家を。」実装棟が完成

防災・減災アイテムを装備し、災害後も住み続けるためのレジリエンス[※]を訴求

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1丁目23番22号／取締役社長 後藤裕司）は、今年4月から「災害にいちばん強い家を。」をコンセプトにした戸建商品を提案しており、このたび、実際に防災・減災アイテムを装備することで災害後も住み続けられるレジリエンスを疑似体験できるモデルハウスを「アトリスパークとよた」に完成させました。「レジリエンス体験棟」として11月9日より一般公開をスタートします。

体験棟は、既存のシンセ・フィーラスを改修し、リチウムイオン蓄電池、エネファーム（家庭用燃料電池）、PV（太陽光発電システム）の3電池のほか、V2H（Vehicle to Home）スタンド、非常時給電システム、マルチアクア（飲料水タンク）、スマート・エアーズなどを備えています。

災害時に停電や断水が発生した状況を想定し、実際にPHV（Plug-in Hybrid Vehicle）から家全体に給電したり、リチウムイオン蓄電池やエネファームから特定回路や専用コンセントに給電したり、さらに、飲料水や生活用水を供給するといったレジリエンスのデモンストレーションにより、災害後も安心して暮らせることを疑似体験できます。

※レジリエンスとは、一般には困難などに負けないこと。防災上では「防災力」「回復力」などのこと。



<レジリエンス体験棟>



トヨタホームは「建てるときの安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の三つの安心をお届けし、60年長期保証[※]制度などで生涯サポートします。

※トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です。



2018年度 デミング賞[※]受賞
※品質の最高ランクの賞